

はすだね通信 第41号

みんなで進めよう
茨城農業改革

土浦地域農業改良普及センター

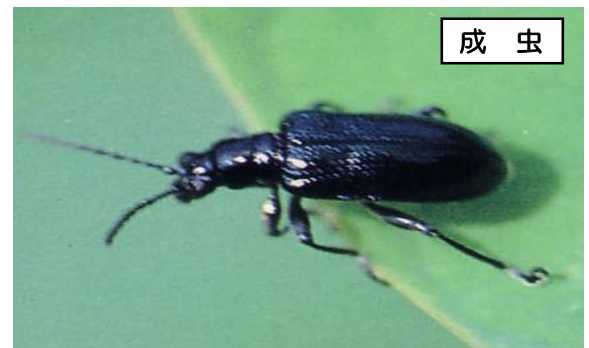
平成23年6月14日発行

イネネクイハムシの防除について

今年は、イネネクイハムシの発生が多くなる恐れがあります。イネネクイハムシは6月下旬頃から成虫が産卵し、新しく生まれた幼虫がレンコンに被害を与えるので、発生には注意して下さい。

今年は、地震や原子力発電所事故による風評被害の影響による出荷制限等により、掘り取りが十分に進まず、床立ちとなったほ場が例年よりも多く見られます。

イネネクイハムシは畦畔や土の中で越冬し、春になると土中を移動して根などを食害します。床立ちほ場では、土の攪拌も無く、レンコンの根なども豊富であるため、イネネクイハムシが増加する恐れがあります。特に今年は床立ちほ場が多いため、発生には十分な注意が必要になります。



6月以降の虫の生態について

6月上旬頃から(7月中旬頃まで)根の外側にマユを作りサナギになり、7日程度で成虫になります。そして6月下旬頃から(8月頃まで)成虫が、浮き葉や雑草を食べ、葉裏に産卵します。産卵後、約7日で幼虫となり、土中に入り根やレンコンを食害します。時期は7月上旬頃からとなります。

防除について

防除適期は成虫や新生幼虫が発生してくる7月上旬頃からとなります。また、雑草にも産卵するので、周辺雑草はきれいに除去して下さい。

これからの時期に使用できる登録薬剤

薬剤名 (成分名)	作物名	適用病害虫	使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	イトフェンプロックス
トレボン粒剤 (イトフェンプロックス)	れんこん	イネネクイハムシ	3kg/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内	3回以内

この資料の作成にあたっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍率や使用量、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。また、農薬散布の際は、周辺作物等への飛散(ドリフト)に十分注意して下さい。また使用に際しては注意事項をよく読んで下さい。

農業学園でのレンコン講座について

普及センターでは、毎年、主に就農間もない生産者を対象に農業の基礎を学ぶための講座「農業学園」を開催しています。その中で、今年度もレンコンに関する講座を7月と9月に開催する予定です。学園生は随時募集しております。詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。

環境にやさしい農業のため、水かけ流しはやめましょう!!!